

【奨励賞】

P2P 認知症保険 ～ 防ぐ疎遠と認知症 立てる保険の金字塔 ～

同志社大学 政策学部 西村 亮哉

” 佐々木 一朗

” 高 樹那

” 服部 伶奈

(要旨)

近年、認知症の患者数は増加傾向にあり、2025年には高齢者の5人に1人が認知症患者となると予測されている。また、認知症は、医療費・介護費用などの金銭的負担も大きいことから、今後社会全体の問題となっていく可能性が高い。

本論文では、認知症の発症を予防し、かつ発症時の金銭的負担を軽減させるために、P2P 保険の枠組みを用いた「P2P 認知症保険」の導入を提言する。この仕組みでは社会的な繋がりが希薄となりがちな高齢者にコミュニティを提供し、そのコミュニティ内で認知症予防ができるよう、互いの健康を気遣い合うものである。また、従来型保険とは異なり、少人数のコミュニティで保険料を拠出・プールし、発症者が出た場合は、当該コミュニティ内から保険金を支払う仕組みである。

本提言を通じて、認知症予防と発症時の費用負担軽減が図られ、社会全体として認知症問題解決の糸口となることが期待される。